様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年7月1日

愛媛県知事　　中村　時広　　殿

提出者

住　　所　愛媛県西予市宇和町永長147番地１

氏　　名　西予市立西予市民病院

西予市長　　管家 一夫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0894621121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西予市立西予市民病院
事業場の所在地	愛媛県西予市宇和町永長147番地１
計画期間	令和6年4月1日　～　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	医療，福祉
②事業の規模	病院
③従業員数	198　名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	１．病棟、外来診察室、手術室等から出る感染性廃棄物を40リットルダンボール容器等にて収集し、感染性廃棄物保管庫に施錠して一時保管 ２．毎週水曜日に、株式会社ダイニンエコ工業がグローバル環境サービス株式会社の処分場へ運搬 ３．グローバル環境サービス株式会社が破砕・滅菌・乾燥による中間処分を行い、オオノ開發株式会社の処分場へ運搬 ４．オオノ開発株式会社の処分場にて最終(埋立)処分を行う

（日本産業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
（管理体制図） 別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（　令和5　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排出量	53.93 t	0.11 t
	（これまでに実施した取組） 感染性廃棄物とその他の廃棄物との分別を徹底するよう周知している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排出量	54 t	0.1 t
	（今後実施する予定の取組） 感染性廃棄物とその他の廃棄物との分別を徹底する。 コロナウイルスに罹患した患者の感染性廃棄物は通常の廃棄物と区別する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 医療廃棄物の取扱いについてまとめた表を配付し、分別を徹底するよう周知している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、医療廃棄物の取扱いについてまとめた表に基づき分別を徹底するよう注意喚起を行う。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（　令和5　　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	全処理委託量	53.93 t	0.11 t
	優良認定処理業者への処理委託量	53.93 t	0.11 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 専用保管庫での適正保管(施錠)やマニフェストでの適正管理を行っている。		

<table>
<tr><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td colspan="2">全　処　理　委　託　量</td><td>54 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処　理　委　託　量</td><td>54 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処　理　委　託　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処　理　委　託　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処　理　委　託　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、専用保管庫での適正保管(施錠)やマニフェストでの適正管理に努める。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物
排　出　量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年４月１日

愛媛県知事　中　村　時　広　殿

提出者
住　所　愛媛県西予市宇和町永長147番地1
氏　名　西予市立西予市民病院開設者
西予市長　管　家　一　夫
電話番号　0894-62-1121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西予市立西予市民病院
事業場の所在地	愛媛県西予市宇和町永長147番地1
計画期間	令和６年４月１日 ～令和７年３月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	病院
②事業の規模	154床
③従業員数	198名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	①病棟、外来診察室、手術室等から出る感染性廃棄物を40ℓダンボール容器等にて収集し、感染性廃棄物保管庫に施錠して一時保管 ②毎週水曜日に、株式会社ダイニンエコ工業がグローバル環境サービス株式会社の処分場へ運搬 ③グローバル環境サービス株式会社が破砕・滅菌・乾燥による中間処分を行い、オオノ開發株式会社の処分場へ運搬 ④オオノ開発株式会社の処分場にて最終（埋立）処分を行う

（日本工業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
西予市立西予市民病院看護部長（特管産業廃棄物管理責任者）…廃棄物の処理等全般を総括する。
院内感染対策委員会…感染対策の一環として感染性廃棄物の取扱いを指導
廃棄物処理担当者（庶務係）…契約書、マニフェスト等を管理するとともに、関係法令で定められた計画書、届出書、報告書等の処理を行う。
各部署の責任者が廃棄物の安全な取扱い、分別、保管等を所属員に指導</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>53.925ｔ</td><td>0.108ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
感染性廃棄物とその他の廃棄物との分別を徹底するよう周知している。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>感染性廃棄物</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>54ｔ</td><td>0.1ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
感染性廃棄物とその他の廃棄物との分別を徹底する。
コロナウイルスに罹患した患者の感染性廃棄物は通常の廃棄物と区別する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
医療廃棄物の取扱いについてまとめた表を配付し、分別を徹底するよう周知している。</td></tr>
</table>

	②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 　引き続き、医療廃棄物の取扱いについてまとめた表に基づき分別を徹底するよう注意喚起を行う。

（第３面）

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	①現状	【前年度（令和　　年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	①現状	【前年度（令和　　年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t

		（今後実施する予定の取組）

（第４面）

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
	①現状	【前年度（令和　　年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
		自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	該当なし	
		自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	① 現状	【前年度（令和　５　年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
		全処理委託量	53.925 t	0.108 t
		優良認定処理業者への処理委託量	53.925 t	0.108 t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		（これまでに実施した取組） 専用保管庫での適正保管（施錠）やマニフェストでの適正管理を行っている。

（第５面）

	②計画	【目標】感染性廃棄物の適正管理及び削減		
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
		全処理委託量	54ｔ	0.1ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	54ｔ	0.1ｔ
		再生利用業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		（今後実施する予定の取組） 引き続き、専用保管庫での適正保管（施錠）やマニフェストでの適正管理に努める。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

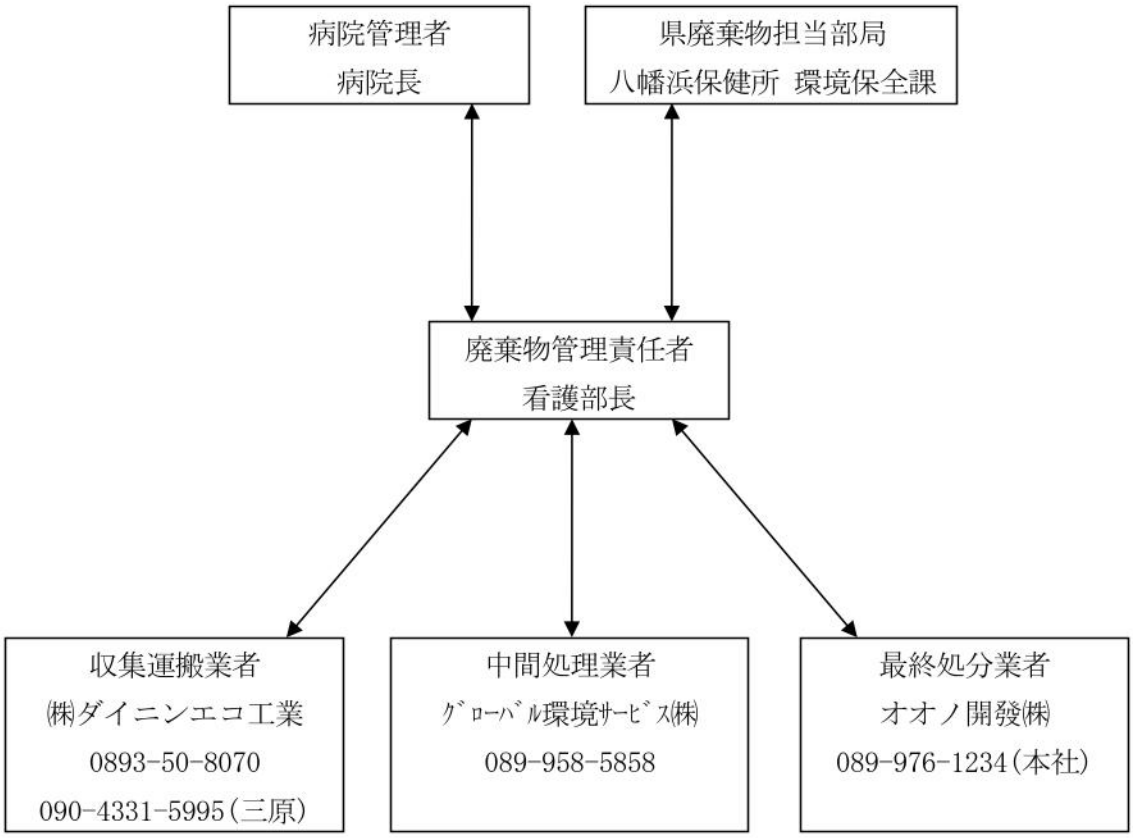
５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

緊急時の連絡体制


病院管理者
病院長
県廃棄物担当部局
八幡浜保健所 環境保全課
廃棄物管理責任者
看護部長
収集運搬業者
㈱ダイニンエコ工業
0893-50-8070
090-4331-5995(三原)
中間処理業者
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ環境ｻｰﾋﾞｽ㈱
089-958-5858
最終処分業者
オオノ開發㈱
089-976-1234(本社)